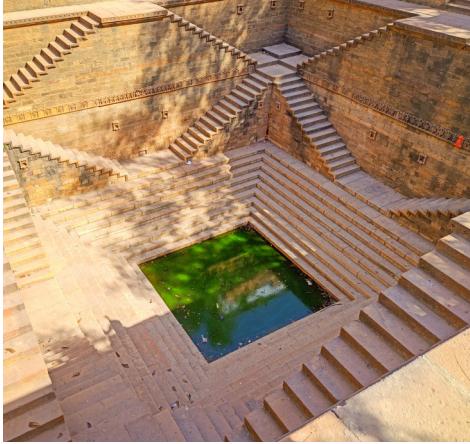
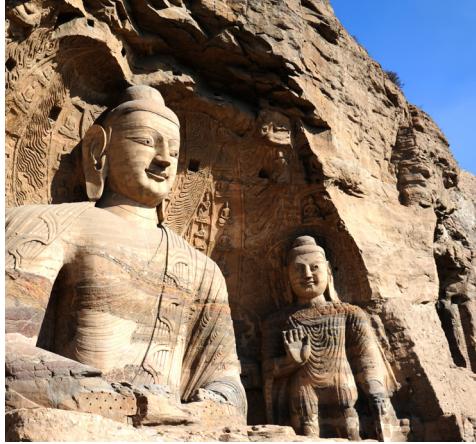
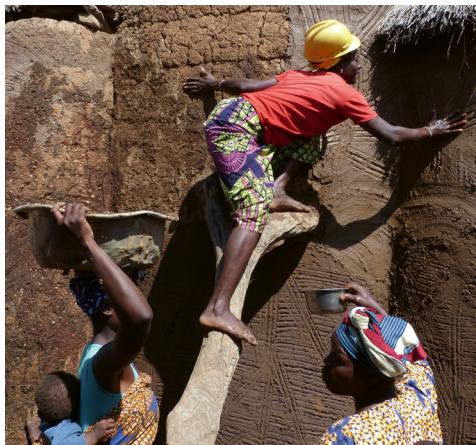


# World Monuments Watch

2027 プログラム説明とガイドライン

募集締切日 2026年3月20日



文化遺産を守るために、緊急課題に取り組み地域社会を活性化させよう、という世界的な呼びかけ

# 目次



Erdene Zuu Buddhist Monastery, Mongolia  
2025 World Monuments Watch

WATCHプログラムについて.....	4
求められている推薦案とは.....	7
過去の選定文化遺産例.....	8
選定された文化遺産が受けられるメリット.....	10
推薦者のプロフィールと要件.....	12
評価と選定基準.....	14
推薦の提出方法.....	15
スケジュール.....	16
よくある質問.....	17

# Watchプログラムについて

ワールド・モニュメンツ・ウォッチは、世界各地の緊急に支援を必要とする25の文化遺産を選定し、その価値を広く伝えるとともに、専門的なアドバイスや資金調達の可能性を高める支援活動を行うプログラムです。

これは2年に一度のプログラムで、WMFは、公開の推薦プロセスを通じて選ばれた文化遺産に光を当て、緊急の脅威や地域社会のニーズに応え、あるいは世界的課題に対する革新的な解決策を示すなどして、文化遺産を守る取り組みを通じて、社会に前向きな変化がもたらされることを目指しています。

「2027Watch」では、新たに25の文化遺産が取り上げられ、それぞれで、社会的に前向きな変化をもたらす保存活動が展開されるとともに、文化遺産の大切さが、世界に広く伝えられることでしょう。

選定された文化遺産が受けられる支援内容は：

- ・国内外のメディアによる報道や広報支援
- ・WMFの文化遺産専門家による2年間の戦略的なコンサルテーション
- ・地域の参加を促すコミュニティ・イベント（ウォッチ・デイ）開催のための資金として2,500ドルの支給
- ・WMFとの連携による保存プロジェクトの企画・実施の機会
- ・専門的な交流や学び、助成金獲得の機会にも通じるグローバルなウォッチ・ネットワークとのつながり



Mam Rashan Shrine, Iraq  
2020 World Monuments Watch



# 求められている推薦とは

WMFは、緊急の課題に直面し、その保存により前向きな変化や創造的な解決策が期待できる文化遺産の推薦を募集しています。

2027ウォッチ申請にあたっては、コミュニティにとって大切な文化遺産が抱える課題や可能性、そしてその保存活動が現代の重要な問題にどう応えていくかなどを是非伝えください。

これまでの選定サイクルで選ばれた優れた推薦事例では、世界中の文化遺産に共通するさまざまなテーマが反映されています。たとえば、自然災害において地域社会に求められる強靭性、紛争後の復興を支える文化遺産の力、観光がもたらす功罪、そして気候変動への適応、といったものです。2027年のウォッチでは、こうした世界的なテーマへの関わりをさらに深め、文化遺産と地域社会が今日直面する最も差し迫った問題に光を当てていきます。そして、地域レベルでの行動が、より強靭で、参加型で、持続可能な未来を築くためにどれほど大きな力を持

っているかを示していきたいと考えています。

その文化遺産が地域社会にとってどれほど重要であるかを示すとともに、より広い視点にたち、地域での取り組みがどのようにしてより大きな変化を生み出せるかを示すものが、最も説得力のある推薦であるといえるでしょう。

古代から現代まで、あらゆる時代・種類の文化遺産が推薦対象となります。たとえば、遺跡、公共建築、住宅、聖地、公園や庭園、文化的景観、商業・娯楽施設、土木・産業構造物、歴史的市街地などが含まれます。伝統的な意味での「記念碑的な」場所である必要はありません。

最も重要なのは、その文化遺産が人類類全体の歴史やアイデンティティを語るうえでどれほど重要

な意味をもっているか、そして文化的・経済的・政治的・環境的など様々な面における現代社会のニーズにどれだけ関係しているかという点です。

# 過去の選定文化遺産例

1996年以来、Watchに選ばれた文化遺産は136か国、900カ所に及びます。以下は事例です。



## クタマク・バタマリバ人の土地、ベナンとトーゴ Koutammakou, Land of the Batammariba

コル・ド・ヴォロンテール・ベニワ (ベナン義勇団) は、特徴的な日干し煉瓦の住居で知られるこの文化的景観を、2020年のウォッチに推薦しました。それ以来、WMFは、地元の職人や地域住民と協力して、これらの建造物の保存に取り組むとともに、伝統的な建築技術を次世代に伝える活動を行ってきました。また、持続可能な木材供給を確保するために5,000本の木を植樹し、女性グループの支援を通じて、建築における伝統的な役割を新たな経済的自立の機会へとつなげる取り組みも進められました。

## ラパ・ヌイ(イースター島)、チリ Rapa Nui National Park

ラパ・ヌイは、マウ・ヘヌア先住民コミュニティにより2020 World Monuments Watchに推薦されました。オロンゴの貴重な岩の彫刻の保存のための適切な手段を模索するために、Watchへの推薦を通して、WMFに支援を求めたのです。今日WMFは、マウ・ヘヌア先住民コミュニティとともに、地質学と構造工学の専門家の協力を得て問題を調査して可能な手段を特定し、コミュニティを主体とした意思決定プロセスの円滑化を推し進めています。

## フランス・ソルボンヌ礼拝堂 Chapel of the Sorbonne in Paris, France

17世紀に建てられたパリ中心部の建築的ランドマークであるソルボンヌ礼拝堂は、嵐による損傷のため20年以上閉鎖されたままとなっていましたが、その修復と再公開に向けての支援が申請され2025年のウォッチに選定されました。このウォッチを通じて、WMFはソルボンヌ大学(パリ大学総長事務局)やパリ市当局と連携し、修復作業を推進するとともに、礼拝堂を再び市民のもとへ開放し、パリの文化的・学術的な生活の中に再統合することを目指しています。



## マム・ラシャン聖堂、イラク Mam Rashan Shrine

ヤズイディ教の聖人マム・ラシャンへ捧げられたこの聖堂は、2014年にダーイッシュ(ISISとしても知られている)によって破壊された後、エズイディ文書化機構によって2020年のWatchに申請されました。地元住民は、解放後にシンジャールに戻るヤズイディ教コミュニティのためにこの聖堂を再建することを目指し、WMFは地元のパートナーと緊密に協力してマム・ラシャン聖堂を再建し、再び礼拝と儀式の中心地となるよう努めました。紛争後の復興における文化遺産の力を示した例です。



## カトマンズ盆地のヒティ、ネパール Hitis (Water Fountains) of the Kathmandu Valley

紀元6世紀に遡る伝統的な水飲み場であるヒティは、安全な水へのアクセスがないカトマンズ盆地の住民の約20%にとっては不可欠なものです。地元のグループであるチバ・チャイティヤ組織によってヒティが推薦され、気候変動によって悪化する一方の水危機に対処するうえでのヒティの役割が評価され2022年のWatchに選定されました。現在、WMFは地元のパートナーと協力してヒティの研究を深め、地域社会での継続的な使用のための再活動を進めるとともに、カトマンズ盆地での現代生活においてヒティがもつ価値についての啓発に努めています。



## アメリカ・アラバマ州の公民権運動関連遺産 Alabama Civil Rights Sites

バーミングハム公民権研究所によって推薦されたこれら12の遺産には、教会、ホテル、個人宅、そして公民権運動において重要な役割を果たした集会場所などが含まれています。2018年のウォッチ登録を通じて、アラバマ州の公民権運動の遺産を特定・保存・発信することを目的としたコンソーシアム(協議体)の設立が支援されました。この協働の成果として、「Voices of Alabama(アラバマの声)」というオーラル・ヒストリー・プロジェクトも実施され、これらの遺産が語る物語や、アフリカ系アメリカ人による自由と平等への闘いへの貢献が記録されました。



Chivas and Chaityas of the Kathmandu Valley, Nepal  
2020 World Monuments Watch

# 選定された文化遺産が受けられるメリット

## 認知度高揚

選定文化遺産25カ所の世界に向けての報道発表と二年間(Watchサイクル)のWMFによる対象を絞った広報活動

## パートナーシップと資金調達

WMFの専門チームは、文化遺産を推薦した人々や地域のパートナーと共に、文化遺産が抱える課題の評価・優先順位付け、資金調達の戦略や行動計画の策定、そして可能な場合には保存プロジェクトの実施も行います。

## 地域との連携

選定文化遺産では、2,500ドルの資金補助と専門的な助言を受け、「ウォッチ・デー(Watch Day)」という地域イベントが開催されます。このイベントは、文化遺産への理解を深め、保存活動に対する地域の人々の関心と参加を促し、地域主導での保存活動の重要性を皆で認識する機会となります。

## ネットワークと交流

選定文化遺産の推薦者は、WMFの「ウォッチ・ネットワーク」に参加することができます。このネットワークは、過去および現在のウォッチ選定文化遺産や保存の専門家、そして世界中の文化遺産保存に取り組む人たちをつなぎ、限定イベントや研修、共有リソースを通じて交流と学びの機会を提供します。



Watchへの登録は、WMF、推薦者、そして関係する地域のパートナーにとって、特定の保存プロジェクトのための資金調達の機会を生み出します。プロジェクトの活動内容には、啓発キャンペーン、調査、修復計画、教育、記録作成、または実際の保存作業などが含まれます。資金調達が成功した場合、その資金はWMFと地域パートナーによる協働作業に使われますが、地域社会のためになるプロジェクトが重視されます。

1996年以来、WMFは、約350のWatch選定文化遺産保存プロジェクトに、1億2,000万ドル以上を投じてきました。また、Watchに選ばれたことで世界的に注目された結果、WMF以外の支援者から地元に直接提供された助成金額は3億ドル以上に及びます。



# 推薦者のプロフィールと要件

すべての人が無料で推薦アクセスできます。グループ、組織、個人を含み、以下のような様々な背景の方々からの推薦を歓迎します：

- ・ コミュニティが所有する遺産の管理者
- ・ 市民社会組織の代表
- ・ 先住民グループ
- ・ 文化遺産の専門家
- ・ 芸術家やクリエイター
- ・ 個人、活動家グループ
- ・ 学術や教育機関
- ・ 政府機関等々

WMFは、文化遺産の保存を目的とする団体にとどまらず、異なる分野の団体からの Watch申請も歓迎しています。その場合申請者の活動内容と関心が当プログラムとどのように合致するかを説明していただく必要があります。

選定文化遺産の推薦者はWMFと幅広く協力していくことになります。推薦者は推薦内容に関してWMFと直接やりとりし、2027 WATCHに選定された当該文化遺産を正式に代表することになります。また、推薦者には、文化遺産に関する状況を隨時更新したり、メディアの取材や地域社会の参加を促進し、WMFとプログラムを共同開発することなどが期待されています。

文化遺産の法的所有者の支持・推薦は推奨されますが、必須ではありません。必要と判断された場合は、WMFより、選ばれた文化遺産の所有者に対し、2027 Watchの発表前に選出について通知されます。



Convents of Seville, Spain  
2016 World Monuments Watch

# 評価と選定基準

評価プロセスには、以下のステップが含まれます：

## 1. WMFスタッフによる評価:

提出された推薦は、文化遺産保存および関連分野の専門知識を持つ世界各地のWMFスタッフによって評価されます。

## 2. 専門分野の実務者によるデスクレビュー:

各申請内容に関する地域的および専門的理解を深めるために、WMFは、Watch Networkを通じて特定された世界中の専門家や保存リーダーの評価を仰ぎます。

## 3. 独立した評価委員会による最終選定:

文化遺産および関連分野の国際専門家による審査委員会が、25カ所のWatch選定文化遺産を最終決定します。

推薦は、以下の四つの要因に基づいて評価され、それぞれが等しく重視されます：

### 文化的 importance

推薦された文化遺産は、コミュニティ、国、または地域の文化や歴史をどれほど深く体現、反映し、またはそれらと関連しているのか？それを保存することが、私たちの共有された過去の豊かさと多様性をより深く理解することにどれほど繋がるか？

### 緊急の課題との関連性

推薦された文化遺産は、差し迫った脅威に直面しているか、また、対処が時宜を得たものか？グローバルで重要な社会文化的課題や環境問題と明確な関連があるか？

### 地域社会への利益の可能性

推薦された文化遺産を保存することで、どのように地域コミュニティに利益をもたらすことができるか？地域社会の社会的、文化的、経済的、または環境的な生活を向上させたり豊かにしたり、または保存プロセスを通じて他の利益をもたらす可能性を示しているか。

### 実現可能性

WMFの提供できるリソースと専門知識で、推薦された文化遺産の保存を効果的にサポートすることができるか？それを妨げるような課題はあるか？

# 推薦の提出方法

2025World Monuments Watchへの推薦は、オンライン推薦フォームに記入することで提出できます。

新しく推薦を始めるためには、以下の手順を踏んでください：

1. 応募要項を十分確認とともに今後の参考資料としてコピーしてください。
2. オンラインで新しいユーザー登録を行い推薦フォームにアクセスしてください。
3. 入力項目に記入してフォームを完成させてください。入力内容を保存して作業を途中で中断し後日フォームを完成することもできます
4. 写真や添付資料をアップロードしてください。推薦状は任意ですが、付随資料として添付することを推奨します。
5. 推薦の締切は、米国東部標準時(EDT) 2026年3月20日午後5時です。

このフォームでは、以下の項目について簡潔な記述式の回答が求められます：

- その文化遺産の歴史と重要性
- 所在する地域社会やステークホルダー
- 差し迫った課題や期待でき可能性
- その文化遺産の将来に対するあなたのビジョン

指名を開始するには：

[wmf.org/watch-apply-now](https://wmf.org/watch-apply-now)



2026年3月20日 推薦締切 午後5時(米国東部夏時間(EDT))

# スケジュール

**2026年1月8日**

推薦受付開始

**2026年3月20日**

推薦締切 午後5時米国東部標準時(EDT)

**2026年3月～9月**

評価期間

**2027年2月3日**

2027 Watch 公開発表

**2027年初旬～2029年初旬**

プログラムサイクルと活動期間

# よくある質問

選考プロセスはどれくらい狭き門なのでしょうか?

これまで Watch のサイクルごとに寄せられる推薦の数は、平均して 200～300 件あります。選考は非常に競争が激しいものですが、WMF は選ばれなかった申請者にも、今後のサイクルで再申請することを奨励しています。

Watch は資金提供の仕組みですか?

Watch に選ばれることで、WMF と地域のパートナーがプロジェクト資金を獲得する機会が生まれ、実際に多くのプロジェクトで資金調達が成功しています。1996 年以降、WMF は Watch に選ばれた文化遺産の約 350 件のプロジェクトに対し、総額 1 億 2 千万ドル以上を投資してきました。さらに、Watch に選ばれることで、地域のパートナーが新たに得た国際的な注目を活かし、他の資金源から 3 億ドル以上を調達することにも成功しています。また、選定された各文化遺産には、「ウォッチ・ディ」と呼ばれる地域イベントの開催支援として、推薦者が企画・提案するイベントに対して 2,500 ドルの支援金が提供されます。資金面だけでなく、すべての選定文化遺産は国際的な注目、専門家との連携、そしてウォッチ・ネットワークへの参加といった多くの恩恵を受けることができます。

以前に Watch で選定された推薦は受け付けられますか?

はい、Watch プログラムに既に推薦されたことのある、または過去に選定された文化遺産も再度推薦することができます。同じ審査および選考プロセスを経ますが、推薦文化遺産を取り巻く状況が前回からどう変化したかという点が重点的に考慮されます。

Watch に選定された文化遺産は危機遺産ですか?

すべての Watch 登録地が危機に瀕しているわけではありませんが、いずれも「いま」保存が重要とされる場所です。中には差し迫った脅威に直面している場所もあれば、保存活動を通じて地域社会にもたらされる恩恵や、喫緊の地球規模の課題への対応を示している文化遺産もあります。時には、その「緊急性」こそが、保護や管理体制を強化する絶好の機会となることもあります。

個人所有の文化遺産は対象になりますか?

個人所有の文化遺産も Watch の選定対象となります。WMF の支援活動が制約される可能性があります。WMF の資金援助は公共の利益に資する文化遺産に限られます。

Watch に選定された文化遺産について WMF は所有権を主張するのでしょうか?

いいえ。Watch への選定は、所有権の主張ではありません。

2 年間の Watch サイクルの終了後はどうなりますか?

Watch プログラムは、WMF と新たな地域パートナーとの関係構築を育みます。一部のパートナーシップは初期の 2 年間を超えて継続する可能性がありますが、ほとんどはこの期間内に有意な成果を達成することを目指します。また、全ての選定文化遺産の推薦者には、Watch Network へ参加し、WMF のグローバルコミュニティとの連携を保ち、持続的なサポートを受ける機会を享受することが推奨されます。



# wmf.org/nominate

募集締切日 2026年3月20日

## World Monuments Fundとは

World Monuments Fund (WMF) は、世界中の最も貴重な文化遺産を保護し、人々の生活を豊かにし、文化やコミュニティを越えた相互理解を築くことに専念する非営利民間組織です。本部は米国ニューヨークにあり、カンボジア、中国、フランス、インド、ペルー、ポルトガル、スペイン、英國に事務所や関連組織があります。1965 年以来、WMF のグローバルチームは、112 力国にある 700 以上の文化遺産で、最高レベルの国際基準を用いて多様な文化遺産を保存してきました。WMF は、地元のコミュニティ、資金提供者、政府と協力して、気候変動、文化遺産価値の過小評価、観光の不均衡、災害等危機後の復旧など、今日、最も緊急とされる課題に文化遺産保護活動を通じて対処します。その場所に命を吹き込む人々に寄り添いながら、WMF は過去の遺産を活かして、より強く、誰もが参加できる社会の実現に取り組んでいます。